

標本棚

私とブユ

麻布大学環境保健学部 共同研究員
国立感染症研究所 客員研究員
齋藤 一三

私がブユと係わるようになったのは、一九六九年一月からエチオピア帝国と我が国との間で医療協力が始まり、第一次派遣専門家として派遣された緒方一喜先生が、エチオピア帝国でオンコセルカ症を媒介するブユの調査をされたことに起因している。

続いて第二次派遣専門家もブユの調査を継続するとの条件で私に声が掛かり、私は第二次専門家として一九七〇年一月から一年間派遣された。エチオピア帝国における私の主たるテーマは、ブユの分布調査とオンコセルカ症の媒介者である *Simulium damnosum* のヒト囷法による日周活動の調査であった。(写真)



帰国後、我が国における最初のブユの分布調査を山梨県で始めた。次いで、東京都下の高尾山の一水系で、高橋正和さんとブユの季節消長の調査を行った。次に、都道府県別のブユの全国調査を計画した。あらかじめ五万分の

虫

一の地図上に十キロ四方の格子を描き、その交点を調査地点と決め、一九八三年四月から和歌山県において調査を開始、約十七年かけて二〇〇〇年八月の北海道を最後に四十七都道府県の調査を終了した。調査地点は三千七百六十九地点に及ぶ。現在は、有人離島、約四百島においてブユの調査を継続しており、二〇一二年までに我が国全土のブユの調査を終了させる予定である。

卵寄生蜂との出会い

元横浜衛生研究所
金山 彰宏

そろそろ幼虫が出現してもおかしくないのに、シャーレに入れた多数のクロゴキブリ卵鞘からは、今日もゴキブリは孵化しなかった。しかし翌日、思いもかけない事態に驚いたことを思い出す。

今から四十二年も前のことである。ゴキブリの飼育でも始めようかと、豚舎で集めたクロゴキブリの卵鞘をシャーレに入れておいた。シャーレの蓋や卵鞘表面で、無数の小さな虫が蠢いていた。正体は卵寄生蜂のゴキブリコバチである。クロゴキブリ、ワモンゴキブリの卵鞘に寄生する内部多寄生性の種で、体長は一・五ミリの小さなハチである。一つの卵鞘から多数(約四十〜五十個体)のハチが羽化する。



ゴキブリコバチの群れ



サシガメの卵に寄生するクロタマゴバチ科の *Telenomus fariai*

寄生蜂との最初の出会いは、さらに遡り大学三回生の時であった。エントウハモグリバエの個体群調査で初めてハモグリバエの幼虫に寄生する一次寄生蜂、二次寄生蜂を見かけ、寄生蜂の存在を知った。その後、今日まで、寄生蜂の魅力に取り付けられ、付き合いが続いている。

幼虫寄生性のコクゾウコバチ(コクゾウ、シバンムシの幼虫に寄生「外部単寄生」約二・〇ミリ)、バクガコマユバチ(シメダラメイガの幼虫「外部多寄生」約二・二ミリ)、卵寄生蜂では、トビコバチ科の *Ooencyrtus ventosus* (サシガメの卵「内部多寄生」約〇・八ミリ)、クロタマゴバチ科の *Telenomus fariai* (サシガメの卵「内部多寄生」約一・〇ミリ) など、数々の寄生蜂と出会った。寄生蜂の世界を一度覗くと興味は尽きない。



気楽なドイツ旅
根谷崎 武彦
(写真家)

二〇一〇年の夏、ドイツ各地を妻と二人で三週間の気楽な旅に出た。旅行のメインドイツシュは十年に一度、オーバアマガウで開催されるキリスト受難劇の観劇だが、この受難劇のことは十年前にも本紙で書いたもので、今回は受難劇観劇の前後に旅をしたドイツ各地についての見聞録である。ドイツには過去何度か来ている。日本とほぼ同じ国土面積のドイツだが何度来ても、眼に留まる風景は新鮮だ。今回はバルト海に近い北ドイツ方面を重点的に見て歩いたが、あまり華やかな観光資源がない地方なので観光客は少なく、まして日本人の団体客などにはまったくあうことはなかった。夫婦二人旅の気楽さで行先やホテルは現地に行つてから決めるという、いい加減な旅行だったが、ドイツのホテルはどんな小さな安宿でも清潔に整えられていて、快適な旅を楽しむことができる。前記した受難劇の発祥はねずみの大繁殖で流行したペストの終息を祈願しての上演だった。もしそのころのドイツでアペックス産業が活躍していたらペストは流行せず、したがって今日まで四百年近く続けられていた受難劇の上演もなかったかもしれない。それに比べて現代のドイツの生活環境は完璧なまでに清潔で快適である。



シュベリオン城。ノイシュバンシュタイン城ほど有名ではないが、造作はなかなかのもの。



ストラールズント市庁舎、北ドイツでは透かし彫り風のファサードをよく見かける。

1	2		4		7		
		6	8			2	3
7	A	9			4		
	3		5	6	8		1
							4
8	9		2		5		
6			9	1			5
	4	5				9	2
	1		3				7
							B

(1つの罫と列に同じ数字は入りません)

【問題】すでに入っている数字をヒントに、太線で囲まれた9個の罫の中に、1〜9の数字を1つずつ入れて下さい。また縦9列、横9列にもそれぞれ1〜9の数字を入れて下さい。その上でAとBに入る数字を掛けて出た数字が答えです。

むしにくいず



触覚 むし型お菓子

以前、本物の昆虫を食べさせるお店を紹介しましたが、本物はどうもという方にお勧めなのが、今回ご紹介する「むし型お菓子」です。メーカーや製法はいろいろで、国内はもとより海外からも気軽に取り寄せることが出来ます。お菓子の材質も、クッキー、グミ、チョコレートなど豊富で、完成品ばかりでなく、型に入れて自分で作り、好きな色づけが出来るともあります。ドイツでは、ラッキーアイテムの昆虫というところで、市販や手作りのコガネムシ、てんとう虫のクッキーをクリスマスにプレゼントとして贈る風習もあるようです。国内で人気なのは、カブトムシ、クワガタ、味でイモムシ、ハチノコなど、その他、カマキリ、ハチ、トンボ、チョウ、クモ、ムカデ、さらには昆虫を離れると、カタツムリ、ムカデ、カエルもあります。ただし、中には本物の昆虫をチョコレートでまぶした珍品の「むし型お菓子」もあるようですから「用心」を!



街角の彫刻。通行人に愛撫されて、おっぱいはいつもピッカピカ(ブレーメン)



ドイツ平野に立つ発電用風車(ロストック近郊にて)

◆応募規定 ハガキまたはファクシミリで、答え、住所、氏名当社との関係を明記の上、ご応募ください。
〒105-0014 東京都港区芝2の23の4
アペックス産業株式会社 APEX CLUB宛
ファクシミリ番号 03-3455-6558
締切は平成24年2月29日(水)(当日消印有効)
正解者の中から抽選で若干名様に記念品を差し上げます。
★前号の正解者と当選者(順不同)
正解は『見学会』でした。
当選者：當間純子、諸岡威之、伊藤靖忠の3名様です。